令和3年11月25日
第2回 SLAシンポジウム

# 有人輸送に向けた法制度&環境整備

Space Liner Initiative

SLA

Space Liner Association

一般社団法人
宇宙旅客輸送推進協議会

# 本TFの取り組み方針

2040年代に、一般大衆の宇宙旅行、P2P大量高頻度輸送などの
目指すべきマーケットが実現されるために必要な
宇宙旅客に関連する法制度及び環境整備の
課題を抽出し解決策を提案したい。

民間事業者の意見交換・情報共有の場をつくります。
専門家の意見を踏まえて、法制度及び環境整備に関する
要望案をつくり、関係機関との対話をします。

みなさんに議論に加わってほしい。

# 当面の法制度・環境整備の進め方

**立法府・行政府・関係機関**

世界観(PKG1)と技術(PKG2)と
併せて働きかけ

**SLA（PKG4）**

宇宙旅客輸送実現のための
施策提案のインプット

**＜サブオービタル官民連携協議会＞**

内閣府/ 国交省/ 文科省
PDA/ SW/ SPJ 他

有人宇宙旅客に向けた提案
民間事業者からの意見集約

**宇宙旅客法制度・環境整備 TF（PKG3）**

2040年代の大量輸送・低価格を前提とした
宇宙旅客実現のための法制度・環境整備に
係る課題を識別・検討

**宇宙旅客関連企業**

Legacy/ NewSpace
ものづくり
運用・サービス
地上関連

意見交換･情報共有

法制度に係る課題の議論

JSLA（日本スペースロー研究会）

環境整備に係る調整・連携

JAXA/ 政府関係機関

# ゴール到達に向けた法制度及び環境整備

▼日本が国際ルール調整をリードするための必要通過点

2020　2021　2022　2023　2024・・・・・・・・・・・2030・・・・・・・・・・・・・2040

10兆
1兆
1000億
100億/年

**第一段階～第三段階を見据えた検討の実施。**

民間による
ビジネスの拡大と
輸送マーケットの成長
（円/年）

事業化
アンカーテナンシー

事業化
アンカーテナンシー

事業化

段階的進化のための
各stepでの投資規模の
オーダ（億円）

～100
第一段階
＊無人弾道飛行事業

～1000
第二段階
＊有人弾道飛行事業

・・・

～10000
第三段階
＊宇宙旅客輸送事業への発展

（法制度的TRL）

→サブオービタル飛行に関する法整備（宇宙活動法or 航空法、管轄官庁、第三者賠償 etc.）
→ 機体の安全性確認
→スペースポートに関する法整備（許認可、空港法改正etc.）
→再突入に係る許認可

→有人飛行に係る許認可（incl. 保険、Informed Consent etc.）
→有人に係る安全性確認
→旅客の宇宙活動法上の位置付けの整理
→ 航空交通管理と宇宙交通管理を統合したルール作り
→ 各種規制緩和

→ 旅客運送事業としての許認可
→ 大量輸送に係るルール作り
（incl. 国際機関・条約 etc.）
→ 運用インフラに係るルール

← 各種産業振興施策・資金調達支援 →

← 国際議論、調整・ルール作り →

# 有人法制度タスクフォースにおける議論

## 現状認識の例

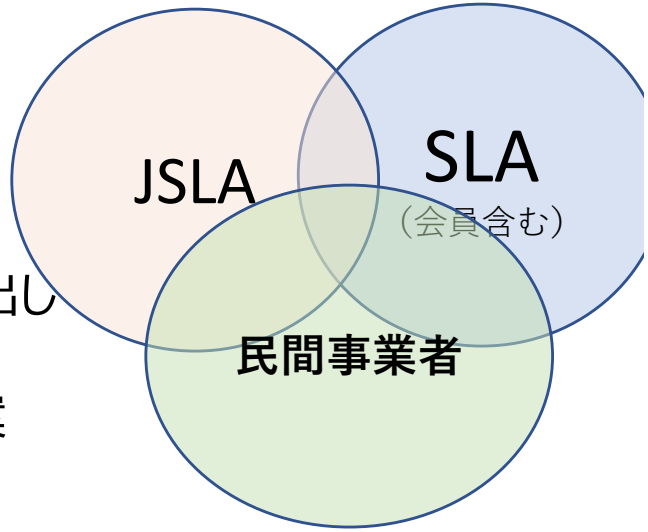
- 有人宇宙活動及び宇宙旅客に関する法制度がない
- 海外の民間企業が日本国内でP2P等宇宙活動を展開
- 国内宇宙製造産業の停滞と振興策
- 宇宙旅客の管制に係るルールが存在しない
- 現状の法制度議論は、大量輸送を想定していない
- 国内の有人宇宙輸送機実現は2026年以降だが、米国はじめ海外諸国で、民間有人宇宙活動が活発化。日本へ市場開放の声もあり。

## 期待する日本の宇宙旅客戦略（実現すべき姿）の例

- P2Pにおいて、日本をアジアのハブにする
- 日本の機体を標準のひとつとして運行させる
- 宇宙旅客のスタンダードを日本が取る
- 宇宙常任理事国としてのリーダーシップの堅持
- Rocket as mobility としての展開
- 国内の航空宇宙技術の育成
- 大量輸送システムインフラ（宇宙管制と航空管制の統合）
- 国益と民間の利益のバランスのとれた事業展開

# 具体的なアクション

ワーキンググループを設立し、下記の活動を開始します。
ワーキンググループの初回キックオフを12月8日AMで計画中。




１．法制度にかかる取り組み
- 宇宙旅客輸送実現のために必要な法的課題の洗い出し
  - → 2040年代までに整備する必要のある法制度の洗い出し
  - → 段階的な法制度整備シナリオの策定
- 国際調整の場で、日本が主導権をとるための施策の提案
- 米国FAA等各国の類似法制度の分析
- 宇宙活動法もしくは航空法の改正検討
- 米国におけるFAA/ASTの調査　など

２．環境整備にかかる取り組み
- 産業振興施策、規制緩和等への提案
  - → 日本版COTSの提案、アンカーテナントになり得る政府需要の開拓
  - → 税制軽減、周波数調整、特区等の提案
- 国内に蓄積されている技術等知財の利用・移転等の促進方策の提案
- 民間が利用できる試験設備等の効果的・効率的な検討・提案　など

# おわりに

2040年代に、一般大衆の宇宙旅行、P2P大量高頻度輸送などの
目指すべきマーケットが実現されるために必要な
宇宙旅客に関連する法制度及び環境整備の
課題を抽出し解決策を提案したい。

民間事業者の意見交換・情報共有の場をつくります。
専門家の意見を踏まえて、法制度及び環境整備に関する
要望案をつくり、関係機関との対話をします。

**みなさんに一緒に実現しましょう。**